白山市立美川中学校

１年　国語「話の構成を工夫しよう」

光村図書　国語　５４ージ　掲載

本単元はおすすめ図書の紹介動画を作成するため、話の構成を検討する単元である。スピーチとは共有したい情報や意見を発信し、相手の行動変容を促したりすることが目的となる。そのために伝える内容や展開そのものが魅力的であることや、「話すこと」のスキルも重要な要素となってくる。また、準備や練習を重ね、発表するという課題を解決する過程で「話すこと」の技能を学ぶとともに、それぞれの段階での交流の中で、相互に磨き合い学んでいくことができる教材である。

本単元の指導計画

①魅力的なスピーチをするために構成や話し方を学習する。

→

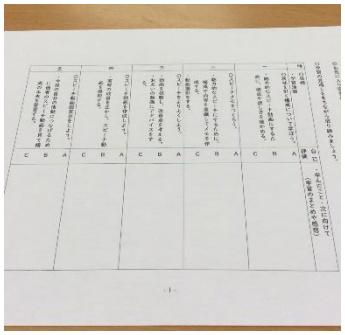
②構成や内容を意識して原稿を作成し、一回目動画を撮影する。

→

③スピーチをより良くするために撮影した動画を客観的に見直す。また、班活動で他者の意見を参考に改善する。

→

④前時の反省をいかし、動画を撮影する。鑑賞会を行う。

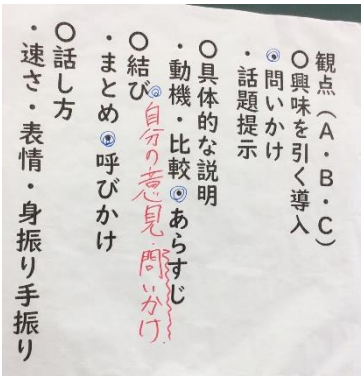


学習の見通しをもって、主体的に取り組むための工夫

・単元の最初に、ゴールの姿を教師がモデルとなって示す。
　単元を貫く目標を知ることで、学習の見通しを持ち、主体的に取り組むことができる。
・振り返りシートに毎時間の活動計画や目標を書く。
　毎時間の目標や、次の時間の活動を知ることでつながりを意識して活動できる。

自分の考えを広げ、深めるための工夫

・完成動画を撮影する前に、撮影した動画を見直す。
　より良いスピーチとなるよう観点をもとに自分で考えることや、他者の意見も参考にすることで、新たな発見や内容の深化につなげていく。



授業の様子

・タブレットで録画することで、自分のスピーチ動画を何度も見返すことができたり、客観的に自分のスピーチを評価できるなどのメリットがあった。
・生徒たちは、自分の映像を撮影することに恥ずかしがりながらも、魅力的な動画を作るために、主体的に取り組んでいた。
・図書館でも、昼休みの時間などを使って、本単元で作成したおすすめの図書の紹介動画を流していく。